



在ネパール大使からのメッセージ

4月25日に発生した大規模地震では、5月3日現在のネパール政府発表では、死者7,040名、負傷者14,630名を数え、今後、地方部での被害が判明するにつれ、この数は増えていくおそれがあります。日本政府及び日本大使館を代表し、日本人1名を含む犠牲になった全ての方々のご冥福を心からお祈りいたします。また、全ての負傷者の方々の速やかなご快復を心からお祈りいたします。

日本政府は震災発生後速やかに、緊急援助隊救助チーム、緊急援助隊JICA医療チーム、緊急援助隊自衛隊医療チームを派遣しました。救助チームは4月28日からカトマンズ市内及び郊外で救助活動を実施し、JICA医療チームは5月1日からシンドバルチョーク郡バルビセで現地住民を対象に医療活動を実施しています。また、自衛隊医療チームも、5月1日より、カトマンズ市内で精力的に医療活動を実施しているところです。

当地在留邦人及び旅行者の皆様におかれては、この一週間あまりの間、水や食料などの物資が不足であり、また余震も続くなかで大変不安な気持ちで過ごされたと存じます。現在、カトマンズの都市機能は徐々に回復しつつありますが、損傷を受けた建物も多くあり、交通や通信の復旧は遅れています。当地政府の発表等を参考にいただき、当地での安全な滞在を期して頂ければと存じます。大使館としても、発災以降、「大使館からのお知らせ」で様々な情報をお知らせしていますが、今後とも、皆様の安全に参考になる情報を発信できればと考えております。

日本政府としては、今後、伝統的な親日国であるネパールの復旧・復興を支援するために、できる限りの努力をしていきたいと考えています。

平成27年5月3日

在ネパール日本国大使 小川正史